

安全報告書【平成 29 年度】

1 ごあいさつ

日頃より、ニューシャトルをご利用くださいますこと誠にありがとうございます。

私たちは、「ニューシャトルの沿線に住んで良かった」、「ニューシャトルに乗って良かった」と思っただけのように、日々、安全・安定輸送を最優先に、快適・便利な輸送サービスの提供を目指して事業運営にあたっています。

その中で基本となる安全確保への取組みとして、異常時訓練、電車が運転不能となったときを想定した救援訓練、普通救命講習、月例の事故防止検討会等を実施して、社員個々の安全意識の向上と技能の向上を図ってきました。また、毎月、事業所ごとに実施目標を掲げて安全のための重点的な取組みを実施しています。

当社では、「安全対策に終わりはない」ことを念頭におき、自ら考え行動することにより、さらなる安全意識を高め、お客さまに安心してご利用いただける鉄道を目指してまいります。

この報告書は、当社が平成 28 年度に実施した私たちの安全に関する取組み状況などを、皆さまにお知らせするために作成いたしました。是非ご一読いただき、輸送の安全・安心の確保に向けた取組みをより確かなものとするため、ご意見、ご感想をお聞かせいただきますようお願い申し上げます。

埼玉新都市交通株式会社
代表取締役社長 山根 昌也

2 企業理念及び安全方針

安全綱領を安全確保の最大テーマとして、全社員に周知、徹底しています。

(1) 企業理念

【 企業理念 】

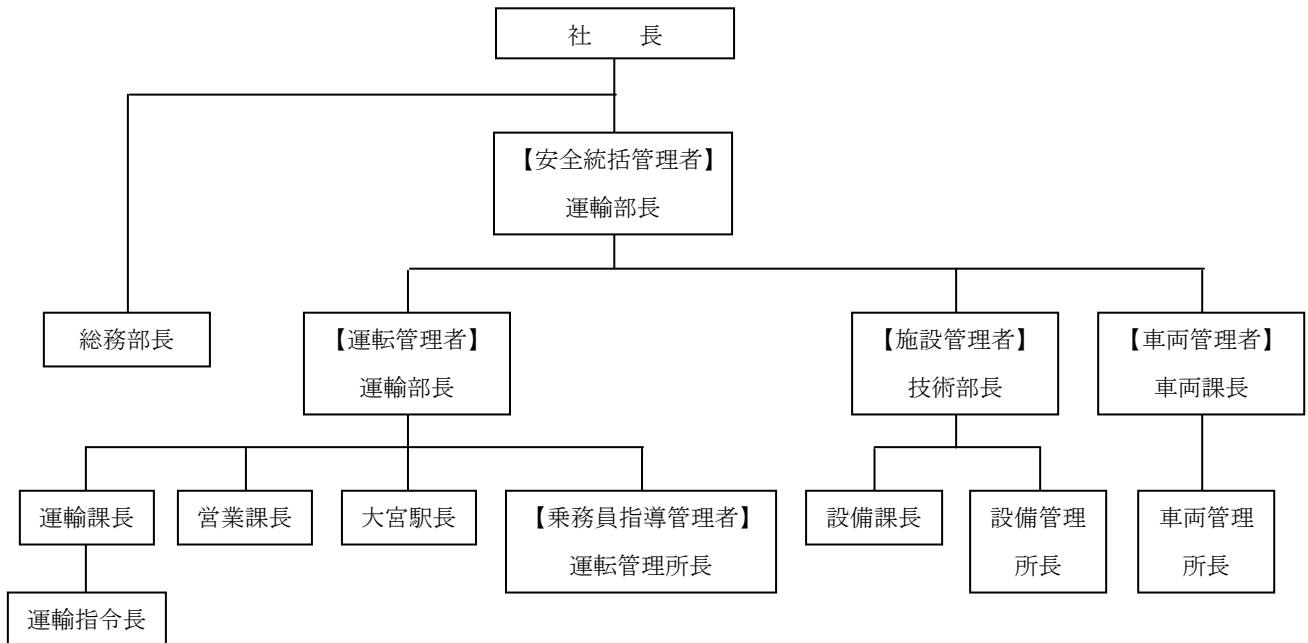
私たちは、安全を第一として、安定した輸送とおもてなしの心を込めた良質なサービスにより、社会に貢献する地域に根ざした会社を目指します。

(2) 安全綱領

【 安全綱領 】

- 一、安全は輸送業務の最大の使命である。
- 一、安全の確保は、規程の遵守及び執務の厳正から始まり、不断の修練によって築きあげられる。
- 一、確認の励行と連絡の徹底は、安全の確保に最も大切である。
- 一、安全の確保のためには、職責をこえて一致協力しなければならない。
- 一、疑わしいときは、最も安全と認められるみちを採らなければならない。

3 安全管理体制



役 職	役 割 ・ 責 務
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、乗務員の資質(適性、知識及び技能)の維持に関する事項を管理する。
施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設に関する事項を統括する。
車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。

4 輸送障害・事故等について

平成 28 年度の輸送障害、事故等の実績は以下のとおりでした。

- (1) 鉄道運転事故(衝突、脱線、火災など、または死傷者の発生に至る事故)
発生はありませんでした。
- (2) 輸送障害(列車の運休、または 30 分以上の遅延が発生した事象)
輸送障害は 2 件発生しました。
 - ・平成 28 年 9 月 26 日に大宮変電所の火災報知機が誤動作し、送電が停止となり、運休 10 本、最大遅延 47 分の輸送障害が発生しました。
 - ・平成 28 年 12 月 3 日にパンタグラフ(集電装置)の損傷により、運休 40 本、最大遅延 222 分の輸送障害が発生しました。
- (3) インシデント(鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められる事象)
発生はありませんでした。

5 安全対策の実施状況

「お客さま、社員の死傷事故「ゼロ」を確保します」を安全目標に掲げ、次のような取組みを実施しています。

(1) 現場巡回

各種安全運動期間中に、社長以下役員を含め管理職社員が各職場の点呼等に立会い、安全に対する取組み等を確認するとともに、全社員に対して安全意識の高揚及びコミュニケーションを図っています。

(2) 定例会議

① 事故防止検討会

管理職(助役)以上の社員が参加し、毎月 1 回開催しています。前月の車両故障等や事故が発生するおそれのある事例、社外で発生した事象などを収集・紹介するとともに、原因や背後要因等を分析・議論し、「事故の芽」を事前に摘み取る取組みを行っています。

② 車両連絡会議

管理職(助役)以上の社員が参加し、四半期に 1 回ずつ開催しています。車両故障の原因について、ハード面及びソフト面から分析・議論しています。

③ 運輸安全マネジメント

社長インタビューを平成 28 年 7 月に実施するとともに、各現業機関(大宮駅、設備管理所、運転管理所、運輸指令、車両課)及び業務委託先(㈱JR 東日本テクノロジー丸山支店)を対象に内部監査を平成 28 年 12 月～平成 29 年 1 月に実施しました。

(3) 各種訓練

① 列車救援併結訓練

平成 28 年 7 月 21 日及び 12 月 15 日の 2 回、終電後から翌日の始発までの間に、列車が運行不能になったことを想定した列車救援併結訓練を本線上で実施しました。

② 防災訓練

平成 28 年 8 月 31 日(水)、地震災害を想定した防災訓練を実施しました。訓練内容は、非常参集訓練、バス代行訓練、列車併結訓練、減速運転訓練、災害伝言ダイヤル「171」体験訓練、エレベーター救出訓練等となっています。

また、避難誘導訓練、AED(自動体外式除細動器)取扱訓練、消火器取扱訓練、119番通報訓練を伊奈町消防署の指導により実施しました。

【防災訓練実施風景】

列車併結訓練(連結作業)



避難誘導訓練【1】



避難誘導訓練【2】



避難誘導訓練【3】



消火器取扱訓練



AED取扱訓練



③ 安全に関する教育訓練

各現業機関においても独自に、適宜、教育訓練を行い、安全に関する知識及び技能の維持・向上を図っています。

(4) テロ対策

駅構内や車内において、不審物の発見等に対するご協力をお願いする放送等を行うとともに、お客さまの安全を確保するため、全駅の駅ホーム及び改札口周辺に防犯カメラを設置し、防犯の強化を図っています。また、警戒中の社員は腕章を着用し、見える形での巡回・巡視の強化を図っています。



(5) サービス介助士

お年寄りやお身体の不自由なお客さまにも安心してご利用いただけるよう、順次、資格の取得を進めています。

(6) 普通救命講習

お客さまの不慮の事故に備え、伊奈町消防署の協力を得て、当社に勤務する全社員が普通救命講習を受講しています。

(7) CS(チャレンジ・セーフティー)活動

職場ごとに全社員参加を原則として、安全に対する各社員からの意見交換を行い管理職社員がフォローする形で実施しています。

また、現場社員からの「ヒヤリハット」をその都度報告を受け、情報の共有化を図っています。

(8) 事故の展示館見学

新入社員を対象にJR東日本の協力を得て、「事故の展示館」を見学させていただき、事故の恐ろしさを実感、経験し事故防止への意識の啓発に取り組んでいます。

(9) こども110番の駅

沿線の子供たちを、事件・事故等のトラブルから守るため、全駅を「こども110番の駅」とし、安全に安心してご利用いただける駅づくりに取り組んでいます。

6 安全を支える設備

安全を支える主要な設備として、運転保安方式はATC(自動列車制御)方式を、進路制御にはARC(自動進路制御)装置を採用しています。

ホーム上の安全設備については、ホーム転落防止柵、内方線付点字ブロック、非常停止装置及び指令員と直接通話ができるインターホンを設置していますが、更なる安全性の向上のため、ホーム転落防止柵に「きけん」のステッカーを貼付するとともに、走行路への転落防止対策として、ホーム乗降口に注意喚起のためのゼブラ表示(赤白のストライプ)をしました。

また、車両についても、お客さまのホロ部分からの転落防止のため、黄色の反射板を連結部に貼付しました。

その他、AEDを全駅に設置するとともに、防犯カメラについても全駅の改札口周辺及びホーム上の映像を総合指令所及び大宮駅で集中管理しています。

注意喚起表示



「きけん」ステッカー



反射板



7 お客さまへのお願い

- (1) 不審物を発見された場合は、触らずに駅係員、運転士またはインターホンにてお知らせください。
- (2) 発車間際の駆け込み乗車は大変危険です。無理をせず次の電車をお待ちください。
- (3) 電車は危険回避のため、急ブレーキをかける場合があります。車内では、つり皮、手すりにおつかまりください。

8 お問い合わせ

今後の安全対策やより安全で信頼される鉄道をつくるために、皆さまからのご意見・ご感想をお寄せください。

埼玉新都市交通株式会社

TEL 048-722-1221(代)

FAX 048-722-1220

ホームページ <http://www.new-shuttle.jp/>